

学位プログラム科目群(社会学関連科目)

社会学関連科目(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OALA001	社会学ワークショップI	2	1.0	1・2	通年	応談	社会学学位プログラム担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる基礎的能力を身につける。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるワークショップのいずれかを選択し、その企画立案ならびに運営に携わることで、社会学における学修に必要な能力を養う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA002	社会学ワークショップII	2	1.0	1・2	通年	応談	社会学学位プログラム担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる発展的能力を身につける。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるワークショップの中で、その企画立案ならびに運営に携わることで、社会学における学修に必要な能力を養う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA003	社会学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談	社会学学位プログラム担当教員	社会学に関連する機関でのインターンシップを行う。履修希望学生は、申請書に、受入組織、受入組織所在地、受入組織責任者、受入組織担当者、受入期間、就業日数と時間(35時間以上であることが必須)、インターンシップ中の連絡先、補助等を明記し、学生教育研究災害障害保険(インターンシップコース)に加入した上で申請書を提出する。履修が認められインターンシップに参加した後、インターンシップの内容の概要、具体的成果、インターンシップ指導担当者の所見等からなる報告書を提出し、担当教員が評価を行う。	対面(オンライン併用型) 受け入れ先企業との調整による
OALA004	地域未来創生アクティブラーニングI	3	2.0	1・2	通年	応談	社会学学位プログラム担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に関与することで、事業を推進する能力を涵養する。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトのいずれかを選択し、課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA005	地域未来創生アクティブラーニングII	3	2.0	1・2	通年	応談	社会学学位プログラム担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に関与することで、事業を推進する能力を涵養する。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトの中で、課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA006	地域未来創生アクティブラーニングIII	3	2.0	1・2	通年	応談	社会学学位プログラム担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に関与することで、事業を推進する能力を涵養する。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトの中で、課題に取り組む。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA007	地域未来創生概論I	1	1.0	1	春BC	集中	岡本 直久, 小西 葉子, 繁野 麻衣子, 藤川 昌樹, 山本 幸子	地域未来創生についての基礎的な知識・手法について講義や事例見学から学ぶ。地域未来創生に取り組む著名研究者による基調講演、地域未来創生事業に先進的に取り組む自治体・企業・組織を対象とする聞き取り調査などを通して知識を深め、地域未来創生のために必要となる課題を主体的に見つけ、自身の研究課題に反映させる。	地域未来創生教育コースの学生のみ履修可 対面(オンライン併用型)
OALA008	地域未来創生概論II	1	1.0	2	春BC	集中	岡本 直久, 小西 葉子, 繁野 麻衣子, 藤川 昌樹, 山本 幸子	地域の未来の創生についての最新の知識・手法について講義や事例見学から学ぶ。地域未来創生に取り組む著名研究者による基調講演、地域未来創生事業に先進的に取り組む自治体・企業・組織を対象とする聞き取り調査などを通して知識を深め、地域未来創生のために必要な政策展開を理解し、自身の研究課題に反映させる。	地域未来創生教育コースの学生のみ履修可 対面(オンライン併用型)

社会学関連科目(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	------	------	----

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OALA500	社会学学ファシリテーター育成プログラムI	3	1.0	1・2	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	社会学学に関するプロジェクトに積極的に関与し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。「社会学学ファシリテーター育成プログラム」は「社会学学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトのいずれかを選択し、その企画立案ならびに運営に携わることで、プロジェクトの進行に寄与できる能力を養う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA501	社会学学ファシリテーター育成プログラムII	3	1.0	1・2	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	社会学学に関するプロジェクトに積極的に関与し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。「社会学学ファシリテーター育成プログラム」は「社会学学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトの中で、その企画立案ならびに運営に携わることで、修士課程の学生として社会学学における学修に必要な能力を養う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA502	社会学学修士基礎演習I	2	2.0	1	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するために必要となる基礎的な知識を習得する。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA503	社会学学修士基礎演習II	2	2.0	1	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための基礎的な知識を再確認しながら、研究内容に即したより発展的な知識を習得する。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA504	社会学学修士特別演習I	2	2.0	1	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	指導教員の指導の下、修士論文を執筆するに当たり必要となる関連する研究のレビューを行う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA505	社会学学修士特別演習II	2	2.0	1	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	指導教員及びAG(アドバイザー・グループ)教員に対して、修士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA506	社会学学修士特別研究I	2	2.0	2	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	修士論文に関する中間発表に向けた、研究指導を受ける、準備を行う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA507	社会学学修士特別研究II	2	2.0	2	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	修士論文に関する最終発表に向けた、研究指導を受ける、準備を行う。	対面(オンライン併用型) 各担当教員に確認のこと
OALA508	社会学学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	社会学学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトのいずれかに参画し、課題に取り組む。	OBLA501と同時実施。 対面(オンライン併用型) 担当教員の指示に従うこと。
OALA509	社会学学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談	社会学学学位プログラム担当教員	社会学学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的な能力を実践を通して養う。具体的には、「プロジェクト実施予定一覧」で提示されるプロジェクトの中で、課題に取り組む。	OBLA502と同時実施。 対面(オンライン併用型) 担当教員の指示に従うこと。